第4章　演習問題

4-2. 演習の解答ー正面図の作成　その１

No.	目次	ナレーション	対応操作
1	演習の解答	―	
2		まず、新規ファイルを作成します。	ファイル検索先 ：C:¥ECAD Traning¥DAT ファイル名 ：演習問題
3		「図面管理情報」ダイアログに情報を入力し、「OK」をクリックします。	設計者欄に名前を入力してOKをクリック
4		「ページ管理情報」ダイアログで、フォーマット、図面種別の設定をします。 「ページコメント」と「図面名称」に情報を入力し、「OK」をクリックします。	フォーマット名 ：A3Y F 図面種別名 ：外形 ページコメント ：盤外形図 図面名称 ：盤外形図
5		入力した情報が図枠に転記されていることを、確認します。	図枠を範囲拡大
6	正面図の作成	制御盤の正面図を作成していきます。	
7	水平垂直補助線入力	［水平垂直補助線入力］を実行します。 オプションダイアログの設定を確認して、作成位置をクリックします。	作図タブ－寸法線グループ－補助線入力▼－水平垂直補助線入力 入力方向モード：水平垂直 を確認
8	長方形（中心）	［長方形（中心）］を実行し、補助線の中心をクリックして、値を入力します。 長方形が作図できました。	入力値 ：X=1600/2,Y=2100/2
9	直線（２点間）	［直線（２点間）］を実行し、左下頂点に直前点を変更して、値を入力します。	作図タブ－一般図形グループ－直線▼－2点間 始点 ：X=0,Y=100 終点 ：X=1600,Y=0 続いて　始点 ：X=0,Y=10 　　終点 ：X=-1600,Y=0
10		スナップを利用すると、値を入力しなくても直線が作図できます。	上側の中点から下側の中点までをクリック

Copyright © 2018 ECAD Solutions Co., Ltd. All Rights Reserved.　無断転載及びデータの編集・加工・再配布等を禁止します。

4-3. 演習の解答ー正面図の作成　その２

No.	目次	ナレーション	対応操作
1	シンボル（ファイル）	次に、上から順にシンボルを配置していきます。 ［シンボル（ファイル）］を実行します。	ホームタブ－設計グループ－シンボル▼－シンボル（ファイル）
2	シンボル（ファイル）（dioの場合）	―	作図タブ－外形図グループ－シンボル▼－シンボル（ファイル）
3	シンボル（ファイル）	オプションダイアログの、ファイル「一覧」をクリックします。	オプションダイアログのファイル「一覧」をクリック
4		シンボルファイルの一覧が表示されますので、ファイルを選択して「開く」をクリックします。	ファイル名 ：PT50-300（銘板）
5		画面中央に、銘板シンボルが仮表示されます。 左上頂点に直前点を変更し、直前点からの値を入力します。	直前点変更ボタン →左上頂点をクリック 入力値 ：X=400,Y=-175
6		シンボルの位置を確認後、「決定」をクリック、または「右クリック」で決定します。	右クリック
7		再度「一覧」ボタンをクリックし、電流計シンボルを選択します。	ファイル名：AMSQ80
8		先程と同じように、直前点を左上頂点に変更し、直前点からの値を入力します。	直前点変更 入力値 ：X=220,Y=-500
9		シンボルの位置を確認後、「決定」をクリック、または「右クリック」で決定します。 下側にもう一つ、配置しておきます。	右クリック 下側にもAMSQ80を配置
10		同じ要領で、左側の表示灯、押釦シンボル、銘板シンボルを入力します。	PLR30、PBR30を2個配置後、PTR30を3つ続けて配置

Copyright © 2018 ECAD Solutions Co., Ltd. All Rights Reserved.　無断転載及びデータの編集・加工・再配布等を禁止します。

4-4. 演習の解答ー正面図の作成　その３

No.	目次	ナレーション	対応操作
1	シンボル文字入力	［シンボル文字入力］を実行します。 銘板シンボルを指定し、「制御盤」と入力します。	ホームタブ－設計グループ－シンボル文字▼－シンボル文字入力 制御盤
2	シンボル文字入力（dioの場合）	―	作図タブ－外形図グループ－シンボル文字▼－シンボル文字入力 制御盤
3	シンボル文字入力	続いて、「PL1」、「PB1」、「PB2」と入力します。	PL1、PB1、PB2
4	シンボル複写	入力が終わりましたら、［複写］を実行します。	ホームタブ－編集グループ－複写
5		電流計シンボル２つを選択し、３回複写します。	複写回数＝3 入力値　X=120,　Y=0
6		表示灯シンボルは、カウントしながら５回複写します。	複写回数＝5 カウントON
7		次に、カウント幅を「２」に変更して、押釦シンボルを５回複写します。	複写回数＝5 カウントON、カウント幅＝2
8		シンボルの複写ができました。 残りのシンボルも、配置しておきましょう。 シンボルが全て入力できましたので、側面図に移ります。	アイボルトを左右の頂点から内側25mmに配置 ハンドルを2つ配置 電流計１つを配置シンボルで配置 スイッチ1つを一覧から配置して、2回複写して完了

Copyright © 2018 ECAD Solutions Co., Ltd. All Rights Reserved.　無断転載及びデータの編集・加工・再配布等を禁止します。

4-5. 演習の解答―側面図の作成・寸法線の入力

No.	目次	ナレーション	対応操作
1	パターン入力	［パターン入力］を実行します。	ホームタブ－パターングループ－パターン▼－パターン入力
2	パターン入力 （dioの場合）	―	作図タブ－パターングループ－パターン▼－パターン入力
3	パターン入力	オプションダイアログの、ファイル「一覧」をクリックします。	オプションダイアログのファイル「一覧」をクリック
4		パターンファイルの一覧が表示されますので、ファイルを選択して「開く」をクリックします。	ファイル検索先：C:¥ECAD Traning¥PAT ファイル名 ：T-SOKUMEN
5		正面図右上頂点の上で「仮想スナップ」を表示し、配置位置を検討します。 位置が確定したら、「決定」をクリック、または「右クリック」します。	仮想スナップ、右クリック
6	領域移動	長さが足りないので、領域移動で変形します。	
7		［領域移動］を実行します。 側面図下側を範囲選択し、基点を左下頂点に指定します。	作図タブ－図形操作グループ－領域移動 左下に基点を指定
8		正面図右下頂点の上で仮想スナップを表示して、仮想スナップをクリック、「決定」をクリック、または「右クリック」します。	仮想スナップ、側面図の下側クリック、右クリック
9		側面図下側は、数値を入力して領域移動してみましょう。	下側を範囲選択して、50mm上側に移動
10	寸法線・連続寸法線	寸法線を入力して、図面を完成させましょう。	

Copyright © 2018 ECAD Solutions Co., Ltd. All Rights Reserved.　無断転載及びデータの編集・加工・再配布等を禁止します。